



けんびょういん

No. 19

岐阜県立多治見病院 平成21年1月1日発行 第19号

ホームページアドレス http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/tajimi_hospital/

発行責任者/舟橋 啓臣

編集/岐阜県立多治見病院広報委員会



日本初!
新型ドクターカー導入



新病棟
ただいま建設中



相談方法

1 電話

代表
(0572)22-5311
<内線487>

2 面談

予約制ですので、
まずはお電話ください。

がん相談支援室をご利用ください。
「がん」についての、医療・療養・生活上の不安や、闘病の悩みなどを解消するお手伝いをさせていただきます。

セカンドオピニオンとは、当院以外の医療機関を受診されている患者様に対して、その医療機関の主治医の診断内容や治療方針について当院の専門医が意見・判断を提供して、患者様ご自身の治療に際して役立てていただくものです。セカンドオピニオン外来は完全予約制です。

希望される方は

医療連携室
(0572)22-5311
<内線488>へ
お電話ください。

セカンドオピニオン外来のご案内

毎週水曜日午前中に放射線科外来で行います。ご希望の方はご予約ください。

緩和ケア外来はじめました。

緩和ケアチームは、がん治療中の患者様やご家族に、痛みをはじめとするからだのつらい症状を和らげたり、こころの苦しみを和らげるためのケアを行うっていく専門家チームです。
緩和ケア担当医師・精神科医師・緩和ケア認定看護師・薬剤師・リハビリテーション技師・管理栄養士・医療相談員
緩和ケアチームによるサポートをご希望の方は、主治医、担当看護師にご相談ください。

地域がん診療連携拠点病院から

緩和ケアチーム活動しています。

がん対策基本法では、がん患者の生活の質向上のため、緩和ケアを受けられる体制の整備が求められています。当院も、地域がん診療連携拠点病院として平成22年の緩和ケア病棟新設に向け緩和ケア対策の充実を図ってきました。

柏木哲夫先生を講師にお招きして緩和ケア講演会を開催します。

日時：2月28日(土) 14:00~15:30
会場：岐阜県立多治見病院診療本館3階講堂
対象：市民、医療機関関係者ほか
定員：200名(先着順)参加費無料
お問い合わせ・お申し込み
医療連携室 0572-22-5311(内線488)

医療サービス課から

各種診断書・証明書などの取扱が変わりました。

患者様の利便性向上のため、昨年12月から各種診断書・証明書などに関する「書類受付」を1階総合案内に設置し、診察の予約なしで申し込みができる書類の種類を増やしました。なお、書類によって取り扱いが異なる場合がありますので、詳細につきましては書類受付までお尋ねください。

臨床検査部から

検査結果に関してのご案内

検査結果を手に入れた「アルファベットが並んでいるけど、何のこと?」「今回検査した項目でどんなことがわかるの?」と興味・疑問を持たれたことはありませんか。そんなときは「検査項目の説明書」を1階総合案内にてお渡しします。お立ち寄りください。

けんびょういんホームページが新しくなりました。

ホームページアドレス http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/tajimi_hospital/

新型ドクターカーこそ、私の医師の原点



麻酔科部長兼
救命救急センター長
間瀬 則文

私の祖父は今ではサッカーで小有名になった静岡の田舎町・磐田市で町医者をしておりました。晩年は愛知県の無医村に祖母と二人で出向いて、余生を僻地医療に捧げました。祖父の頃から救急医療は医者 の 原点 として むしろ 今より 活発に 展開 されて いた よう です。祖父は雨の日も風の日も、往診靴を片手にスクーターに飛び乗って町中を走り回っていたと聞きました。若い頃は初期救急、晩年は僻地医療と何やら祖父は今の医療の問題点を当時から見透かしていたような気がします。叔父の代になると開業医の羽振りが良くなって医院も立派になり、豪華な米国車に乗り込んで往診に明け暮れていたようです。私が私も何度か目撃しましたが車の輝き方とは裏腹に叔父は疲れきった体に鞭打って文句をたたら言いながら往診に走り回っている姿の中に、実は地域医療を支える誇らしさが垣間見え、少しうらやましく尊敬しながら眺めて

いたものでした。今、新型ドクターカーに乗っている私を、祖父や叔父に見せてあげたいと思うのですが、残念ながら二人とも既にこの世の人ではありません。

新型ドクターカーは本年道路交差通行法施行令が改正されたことにより、市町村の要請で医師が救急現場に出向く場合に普通乗用車に赤色灯とサイレンを装備すれば緊急車両として運行できるとされたものです。普通乗用車ですから、患者さんを搬送するベッドはついていません。医師をいち早く、緊急医療が必要な現場に送り込むための車です。早い話が、叔父が運転していた往診用のアメ車が、緊急車となっただけのものです。このような車両は既に欧州では大活躍しており、英国、フランス、ドイツなどで見掛けになった方もいらっしゃるでしょう。119番通報と同時に医師が皆様のところへ緊急走行で向かい、持参した資機材で現場からいち早く緊急検査、診断、治療を開始して、患者に付き添って救急車に移乗して病院に向かうのですから、救命効果の高さは欧州でも証明済みです。県病院では日本で初めて9月からこの欧州型ドクターカーの運用を始めました。円滑な運用のため、県民の皆様の協力をお願いいたします。

皆様にご協力をお願いいたします。

1 ドクターカーは、119番通報で重症を示唆する16項目の特定情報があった場合に、市町村を代理する消防本部から当院に要請が入ります。患者様から直接ドクターカーのご依頼をされることは法律上できません。

2 ドクターカーが向かいますと、緊急往診料・検査料等が発生します。仮に診察の結果、病院にかからなくても（または他病院に搬送しても）、県病院に往診料金をお支払いいただくこととなります。これには健康保険が適用されません。

3 ドクターカー担当の医師は、夜間・休日には普通の日常生活をしながら待機しています。24時間すべてに皆様の元に駆けつけられるよう、時にはスーパーマーケットやレストラン、娯楽施設にドクターカーが停車していることがあると思います。どうか暖かい目でご協力を願います。

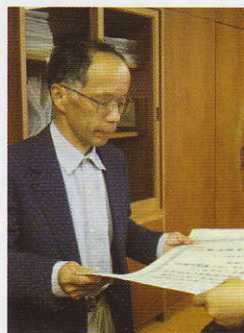


ご寄付
ありがとうございます

新型ドクターカーは加藤智子様からのご寄付により実現することができました。心から感謝申し上げます。



佐藤年政様からは小児科のために50万円を寄付していただきました。心から感謝申し上げます。



有限会社匠建設工事様からは車椅子3台を寄付していただきました。心から感謝申し上げます。



看護部から

「がんばっています、産婦人科病棟」



当院は、平成20年2月に地域周産期母子医療センターとして岐阜県に認定されました。産婦人科病棟では分娩監視モニターなどの設備を整備し、東濃地域のお産・ハイリスク妊婦さまと婦人科疾患で腹腔鏡下の手術や治療を受けられる患者さまの治療・看護に携わっています。

病床数は47床。スタッフは、現在、医師5名、看護スタッフ25名でお世話しています。メンバー構成は、11名が助産師、看護師14名です。

病棟環境は、他の開業医さんに比べるとレトロな雰囲気ですが、（平成22年には新病棟へ移転します！）看護スタッフの笑顔と優しさで信頼される看護をモットーに頑張っています。

また、当院にはNICU（新生児集中治療室）があり、生まれてくる赤ちゃんを万全の体制で受け入れるため、小児科などの他部署の医師や看護師、コメディカルスタッフと協力的体制をとっています。

お産や、婦人科の手術などの治療に安心して入院していただけるように、スタッフ一同がんばっています。



東濃地域周産期母子医療センターについては「お産ネット東濃」をご覧ください。

<http://www.geocities.jp/tono-osan-net/>



岐阜県病院協会学会が 多治見市で開催されました。

平成20年9月28日地元多治見市で第25回岐阜県病院協会医学会が開催されました。ドクターカーを特別に展示していただき、市民の皆さんにPRするとともに、多くの職員が参加し、日頃の研究成果を発表しました。



東7階 内山さん



東3階 杉山さん

そのなかで、当院の職員6名が優秀演題賞に選ばれ表彰されました。

| | | |
|--------|-------|---|
| 麻酔科 | 間淵則文 | 新型ドクターカーDMERCが地域医療に貢献できる可能性 |
| 放射線科 | 小山一之 | 緩和医療としての放射線医療 |
| 薬剤部 | 岩田知恵子 | 関節リウマチ薬の手術前後の投与について |
| 臨床検査部 | 小森康宇 | クォンティフェロンTB-2Gの実施状況とその有用性について |
| 看護部東7階 | 内山真紀 | 終末期がん患者を支える家族ケア |
| 看護部東3階 | 杉山淑子 | 予後に対する不安と医療不信に陥った患者の看護—患者・家族が参加したカンファレンスを活用して |

新型ドクターカー(DMERC)の紹介

当院では新型ドクターカーをDMERC(ディーマーく)と呼んでいます。Doctor driven Medical Emergency Response Carの略語です。

ここでは担当の医師・看護師がDMERCを紹介します。

日中のDMERC

DMERC医師・看護師は日替わりで担当しています。当番の日は朝の着替えから普段とは異なります。ご覧になった方もあるかと思いますが「ポケットのたくさんついた黒いベストを着て胸には無線機を忍ばせています。出場のためだけに待機してはいただけません。担当医師は麻酔科外来や救急外来、手術室麻酔、集中治療室で、看護師は集中治療室や救急外来で、いつものように診療を行いますが、無線で消防本部からの要請が入電するやいなや全速力でDMERCに駆けつけて出場します。

(麻酔科医長 山崎潤二)



夜間休日のDMERC

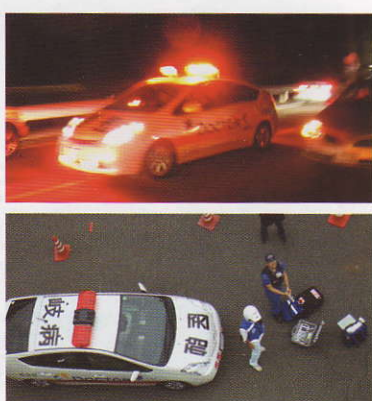
DMERC 24時間365日運用であるため、勤務時間外はその日の当番医が病院から車輦に乗って帰り自宅待機になります。

自宅では無線機と携帯電話を手放せません。出動着や医療資機材を整理し出動に備えます。あと晩酌はできません。

食事中も睡眠中もトイレでも風呂でもいつ出動要請が入るかかわかりません。出動要請があり一刻も早く現場に駆けつける中で重要な事は、サイレンを鳴らした緊急走行ではなく実は車のエンジンを始動させるまでの時間です。

でもこのことは日常生活でも当てはまることですね。

(救命救急センター医長 山田 富雄)



DMERCナースの活動

救命救急センター看護師を中心に8人をDMERCナースとして登録し、9月1日からDMERC活動を行っています。DMERCナースの一日は、活動ユニフォームに着替えた瞬間から始まります。そして、無線機と院内PHSを携帯し、担当医師とのあいさつを合図に緊張もやる気にも変わってきます。まず個人装備品の点検から始まり、携帯活動用品や車両の点検を行います。その後、救急外来での通常勤務をしながら緊急出場に備えています。緊急出場時には、主に車を運転し、現場では診療の補助や傷病者・家族への援助を行っています。看護師が現場に向くことには多くの利点があります。傷病者や家族への精神的援助、現場から受診時や入院を見越しての情報収集や情報提供、看護師が現場に存在することで可能となる専門的役割分担、転院時の継続看護、医師・看護師のあうんの呼吸による処置介助、などの看護サービスを現場から迅速に提供することが可能となってきました。

一人でも多くの傷病者の方々に、現場から専門的看護サービスをスムーズに提供できるように、これからも活動を続けていきたいと思っています。

(DMERCナース 森田理)

編集後記

広報誌「けんびょういん」19号をお届けします。意見箱にいただいたご提案によりペットボトルのキャップを回収することになりました。1面にあげた「検査結果のご案内」も意見箱への投書がきっかけとなりました。病棟建設・独立法人化など大きな変化が待ち受けていますが、一人ひとりの患者さんとの交流から小さな改善を積み重ね、信頼される病院となるよう努力してまいります。皆様からのご意見お待ちしております。

広報委員会(総務課管理調整担当)

TEL 0572-22-5311(代)
内線 211



一部病棟が平成22年3月に新しく生まれ変わります。

皆様に永くご利用いただいている東西病棟・精神病棟・リハビリ棟は、昭和43年から45年にかけて建設された施設であるため老朽化が徐々に進んでおり、また、昨今の療養環境としては手狭になっておりました。

そこで、「安らぎとゆとりのある療養環境」、「より良い患者サービス」を目指し、強い地震にも耐えうる免震構造を備えた「21世紀型の病棟」を整備することとなりました。

新西棟の完成により、災害に耐えうる地域の基幹病院として、皆様により充実した療養環境をご提供できるようになります。



スケジュール

平成20年4月～ 新西病棟建設工事開始
平成22年3月～ 新西病棟使用開始
平成22年中 南側駐車場整備完了

整備の概要

[名称] 県立多治見病院耐震病棟整備事業
[延床面積] 約27,300㎡
[階数] 地上8階 地下1階
[構造種別] 鉄骨造(一部柱:CFT(コンクリート充填鋼管柱)造、1階床梁:SRC(鉄骨鉄筋コンクリート)造
上部構基礎の間に免震材料を設置した免震構造
[病床数] 460床
(一般:375、緩和ケア:20、精神:46、結核:13、感染症6)

整備の特色

- (1) 阪神淡路大震災クラス地震にも耐えうる免震構造とし、災害時の大量患者の収容スペースを確保するなど、東濃地方の基幹病院としての機能を確保します。
- (2) 終末期医療を充実させた緩和ケア病棟(20床)を8階に設置します。
- (3) 精神病患者さんが結核を併せて発症された場合の専門病室(2床)を設置します。
- (4) 産婦人科病棟と新生児病棟の密接な連携による周産期医療を充実させます。
- (5) 新西棟では、個室率を50%以上とします。
- (6) 新たに340台の外来駐車場を整備します

※工事音などご迷惑をおかけしますがご理解願います。

外来診療表

平成21年1月1日現在

| 診療科目 | 初診・再診別 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | |
|------|--------|---------------|-----|--------------|-----------|----------|----------------|
| 内科 | 初診 | 消化器内科 | 佐野 | 戸川 | 安藤 | 上野 | 吉村至 第1・3・5週 |
| | | | — | — | — | — | 西 第2・4週 |
| | 再診 | 消化器内科 | 安藤 | 夏目 | 戸川 | 西江 | 佐野 |
| | | | 麥島 | 上野 | 吉村至 午前 | 西 | 山下 |
| | 初診 | 循環器内科 | 日比野 | 藤巻 | 加藤公 | 日比野 | 河宮 |
| | | | 加藤公 | 横井 | 田中 | 横井 | 矢島 |
| | 再診 | 膠原病 リウマチ内科 | 佐々木 | 横田香 | 佐々木 | 横田香 | — |
| | | 腎臓内科 | — | 加藤規 | — | 古橋 | — |
| | 初診 | 血液内科 | 花村 | — | 徳山 | 花村 | 岩井 |
| | | 内分泌内科 | 田口 | 伊藤電 | 佐藤 | 田口 午前 | 伊藤電 |
| | 再診 | 呼吸器内科 | 福田 | 森 | 加藤研 | 國井 | 高野 |
| | | | 國井 | 高野 | 福田 | 森 | 加藤研 |
| 神経内科 | 初診・再診 | 梶田 | 亀山 | 梶田 | 堀部 | 中藪 | |
| | 再診 | 堀部 (初診) | 中藪 | 亀山 | 中藪 | 亀山 | |
| 整形外科 | 初診 | 1・2・3週 | 水野 | 高津 | 伊藤茂 | 高津 | 山本 |
| | | | 小林 | 前川 | 門野 | 小林 | 前川 |
| | 再診 | 2・4週 | 水野 | 高津 | 伊藤茂 | 高津 | 山本 |
| | | | 前川 | 門野 | 前川 | 門野 | 小林 |
| | 再診 | | 門野 | 伊藤茂 | 水野 | 伊藤茂 | 高津 |
| | | | 山本 | 山本 | 小林 | 前川 | 水野 |
| | 厚生相談 | — | — | — | — | 水野 | |
| | 形成外科 | 初診・再診 | 多田 | 風戸 | 吉村真 | 吉村真 | 風戸 |
| | 眼科 | 初診・再診 | 鈴木 | 鈴木 | 鈴木 | 鈴木 | 鈴木 |
| | | | 子安 | 子安 | 子安 | 子安 | 子安 |
| 放射線科 | 初診・再診 | 小山 | 小山 | 小山 (緩和ケア) | 小山 | 小山 | |
| 女性外来 | 初診・再診 | — | — | — | — | 松下 | |

■診療開始時間 午前9時～(診療科によっては午前8時30分～)
 ■休診日 土・日・祝祭日、及び年末年始(12月29日～1月3日)
 ※予約のない方の診療受付時間 初診・再診 午前8時30分～午前11時まで。
 ※各診療科目担当医師については、都合により代診させていただく場合があります。
 ※救急診療については、救急外来受付(内線511)まで、お問い合わせください。
 ※女性外来の予約は、医療連携室(内線487)へご連絡ください。

| 診療科目 | 初診・再診別 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | |
|-------------|----------------|--------------|------------|------------|------------|------------------------------------|----|
| 精神科 | 初診・再診 | 林 | 代務医 | 林 | 林 | 林 | |
| | | 中村 | 中村 | 中村 | 中村 | 中村 | |
| 小児科 | 初診・再診 | 小久保 | 中野正 | 立木 | 中野正 | 小久保 | |
| | | 中野薫 | 荒川 | 中野薫 | 荒川 | 立木 | |
| | 特別外来 | [心臓] | [一般] | [相談] | [一般] | [神経] | |
| | | 荒川 | 佐々 | 中野正 | 根岸 | 濱口 | |
| 新生児科 | 午後 特別外来 | [心臓] | [心臓] | [腎臓] | [相談] | [乳児 検診] | |
| | | 荒川 | 中野正 | 中野薫 | 中野正 | 小久保 荒川 立木 中野薫 佐々 石田 | |
| 外科 | 初診 再診 再診 | 外科・ 消化器外科 | 末岡 | 園原 | 小西 | 市川 | |
| | | | 小西 (再診) | 原田 | 園原 (再診) | 末岡 | |
| | 初診 再診 | 乳腺 内分泌外科 | 吉田弥 | 大野 | 園原 | 末岡 舟橋 (再診) | 大野 |
| | | 心臓血管外科 | — | [血管 服部] | 中山 午後 宋 | [血管 服部] | — |
| 呼吸器外科 | 伊藤正 | — | — | — | 伊藤正 | | |
| 脳神経外科 | 初診・再診 | 代務医 | 伊藤淳 | 西澤 | 伊藤淳 | 西澤又は 伊藤淳 | |
| 麻酔科 | 初診・再診 | — | — | — | 鶴岡 | — | |
| 皮膚科 | 初診・再診 | 石川 | 石川 | 石川 | 石川 | 石川 | |
| | | 吉田紫 | 吉田紫 | 吉田紫 | 吉田紫 | 吉田紫 | |
| 泌尿器科 | 初診・再診 | 高士 | 桃井 | 高士 | — | 桃井 | |
| 産婦人科 | 初診 | 竹田 | 中村 | 森 | 境 | 井本 | |
| | 再診 | 婦人科 | 中村 | 境 | 竹田 | — | 竹田 |
| | | 産科 | 井本 | 森 | 境 | — | 中村 |
| ハイリスク 外来 | — | — | 中村 | — | — | | |
| 耳鼻咽喉科 | 初診・再診 | 富田 | 横田志 | 上田 | 横田志 | 富田 | |
| | 再診 | 上田 | 富田 | 横田志 | 上田 | 横田志 | |
| 歯科 口腔外科 | 初診・再診 | 佐藤 | 堀田 | 大隅 | 佐藤 | 大隅 | |
| | 再診 | 大隅 | 大隅 | 佐藤 | 大隅 | 佐藤 | |
| | | 堀田 | 佐藤 | 堀田 | 堀田 | 堀田 | |

外来診療の電話予約について

混雑緩和と利便性向上のため外来診療は予約制としております。継続して診療を受けておられる患者様には、診察時に次回の予約をしていただきます。予約を保留された場合やしばらく受診のない場合は、電話予約のうえでご来院ください。

予約専用電話 0572-21-2200

電話予約受付時間 当日の予約(平日) 8:30~11:00
翌日以降の予約(平日) 13:30~16:30

※診察券の患者番号をお知らせください。
 ※診察券のない初診患者様は、電話での予約はできません。
 ※診療機関からの紹介患者様については、診療機関から当院医療連携室へご連絡ください。

初診患者様のFAX予約について

当院の受診歴のない方でも、次の項目をFAXしていただければ予約できます。
 ①氏名(漢字とフリガナ) ②性別 ③生年月日 ④住所と郵便番号
 ⑤電話番号(折り返し連絡する電話が別の場合はその電話番号も)
 ⑥健康保険の種類・保険者名・記号・番号 ⑦受診希望診療科名 ⑧受診希望日時

初診予約用FAX 0572-22-7948

※折り返し電話予約センターから電話を入れます。ただし、電話予約受付開始から1時間程度は予約電話が混雑するため、すぐにご連絡できない場合があります。また、電話予約受付時間以外の時間帯にFAXされた場合は、ご連絡が次の電話予約受付時間内になります。
 ※FAXで予約された場合でも、初めてご来院されたときに診療申込書の記入と保険証の提示が必要です。



環境にやさしい古紙100%の再生紙と大豆油インキを使用しています

この広報紙「けんぴょういん」は当病院ホームページでもご覧頂けます。
 URL http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/tajimi_hospital/